

東北文化学園大学基礎看護学 見学実習を行いました

11月19日と12月17日に東北文化学園大学の看護学科2年生85名が基礎看護学教育の一環でクリニカル・スキルラボにおいて見学実習を行いました。この実習は大学で学習した基礎看護学の理論を踏まえ、看護師の看護活動の実際を見学することを目的に2019年より毎年実施しており、今年は3回目の開催になりました。

実施した項目は、「心音、呼吸音の聴診」「心電図について」「一次救命処置」「フィジカルアセスメント」の4項目です。講師は東北文化学園大学の教員とクリニカル・スキルラボの教員が務めました。

心音、呼吸音の聴診では、心臓病診察シミュレータ【イチロー】と呼吸音聴診シミュレータ【ラング】を使用し聴診を行いました。演習に入る前にミニ講義を実施したことにより、参加した学生は理解を深めることができたようです。

心電図ではフィジカルアセスメントモデル【フィジコ】で肋骨の位置を確認し、電極を貼る位置について学習しました。

一次救命処置では、評価型心肺蘇生法成人シミュレータを使用し手技を可視化できたことが良かったようです。

フィジカルアセスメントでは、高機能成人シミュレータを使用して教員が提示したバイタルからどういったことが読み取れるか学生同士でディスカッションを行いました。

短い時間でしたが、シミュレータを使用して学んだことを大学に持ち帰り、今後の看護活動の場面で活かして欲しいと思います。